

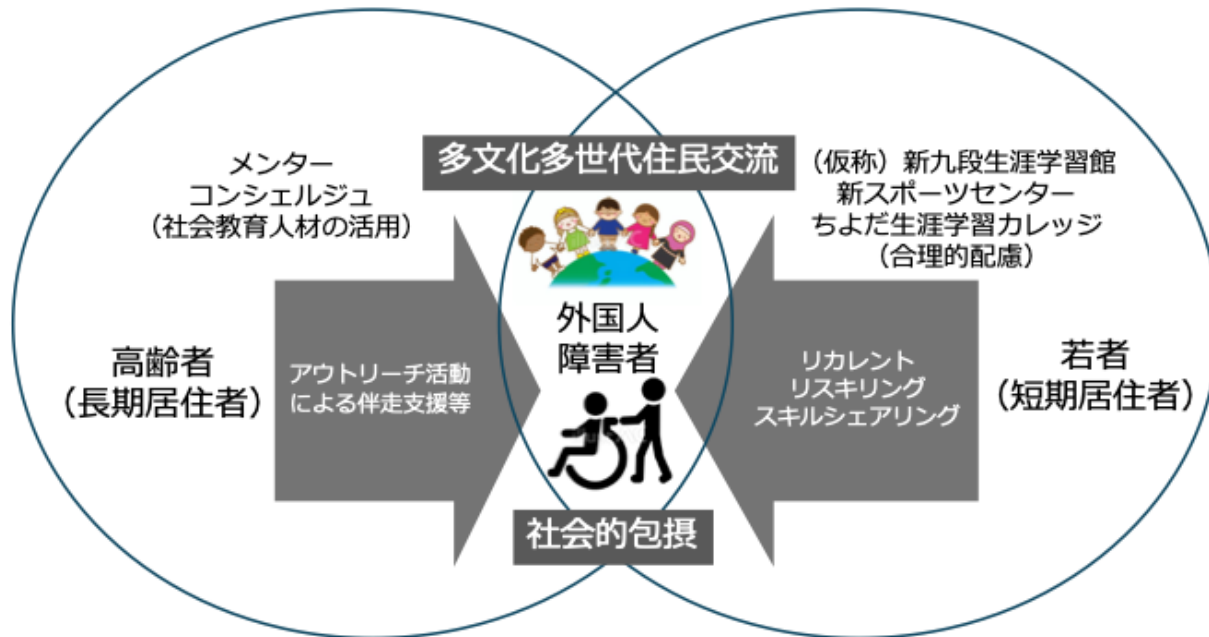
住民交流の促進に資する千代田区の生涯学習・社会教育
～長期居住者としての高齢者と短期居住者としての若年者の世代間交流も視野に入れて～

**第15期生涯学習推進委員会議
提言書(概要)**

令和8(2026)年3月

第15期のテーマ

- 第15期のテーマは、**生涯学習に関する制度が社会の変化に追いついていない**という課題認識より設定した。
- 千代田区では若者（20～29歳）の転出入が多く、地域を支える長期居住者の高齢化が進んでおり、**若者の定住促進策が必要**である。
- **世代や文化の異なる住民が知識・経験を共有**することで、地域コミュニティの活性化、防災力の向上、社会関係資本の再構築につながり、**地域の持続可能性向上に役立つ**ことを目指す。
- 本提言が**新九段生涯学習館や新スポーツセンターの運営**にも生かされることを期待する。



千代田区における多文化多世代交流のイメージ図

1. 社会人のリカレント教育への取り組み

- 区ではさまざまな講座や事業を通じて学習機会を提供しているが、若者が参加し、学びを通じて地域と関わりを持つことは少ない。
- 参加率の低い要因として仕事・家事・育児などが忙しく時間がないことや参加するきっかけがないことが挙げられる。**若者が求める学習ニーズを把握し参加を促す**ために、以下を提言する。



提言事項

- (1) 講座の時間帯や実施方法の見直し
 - ① **土日や夕方**の時間帯にも講座を開催
 - ② **オンライン講座**やアーカイブ配信の導入
 - ③ 講座内容の**デジタル化**
- (2) 生涯学習に関する情報発信・PRの強化
 - ① 千代田区の**魅力（歴史・文化）**を積極的に**発信**
 - ② **SNSやアプリ等**を活用し、若年層へアプローチ
- (3) 学びを促すしかけと学びを続ける仕組みの構築
 - ① 生涯学習・社会教育を通じた**住民交流の仕組みづくり**
 - ② 施設利用やイベントに参加しやすくなるよう**環境整備**
- (4) 若年層ニーズの把握と分析
 - ① **若年層に対するアンケート・調査**を実施
 - ② 既存の事業で参加者へのヒアリングや参加状況の分析し**実施方法を検証**
 - ③ リスキリングの一環として生涯学習機関・講座を活用して**若年層に安価に提供**



2. デジタル社会への対応

- デジタル社会への対応としてICT講座や大学・企業ボランティアの連携などの取り組みが進められている一方、デジタルデバイド（情報格差）の解消、情報発信の工夫、行政サービスのデジタル化などが課題である。
- デジタルの分野において若者と高齢者・障害者との多文化多世代交流を促進していくために、以下を提言する。



提言事項

(1) 高齢者・障害者に対するデジタル支援

- ① 学生・ボランティアによるサポートなど支援体制を強化
- ② デジタル機器の操作性やアクセシビリティを向上

(2) デジタル化による利便性の向上

- ① イベント・ボランティアなど情報をデジタル掲示板へ掲載
- ② ボランティアのポイント制度やキャッシュレス決済の導入



3. 共生社会の実現と社会的包摂の視点

- 区では、障害者、外国人などが地域社会で共に生きる「共生社会」の実現を重要なテーマとして位置づけており、社会的包摂の観点での**合理的配慮**や**学びの機会**の提供が課題である。
- 多様な人々**が交流・参加・参画を通じて**地域と繋がり続ける**ために、以下を提言する。



提言事項

- (1) 共生社会の実現に向けた支援体制の強化
 - ①国際交流協会のような**組織的に支援**するシステムの創設
 - ②日本語・日本文化の**学習機会の提供**や、**防災情報の多言語発信**
- (2) 障害者が交流・参加・参画できる環境の整備
 - ①障害者に対する**合理的配慮と支援体制**を強化
 - ②**障害者の交流と参加・参画を促進**するための仕組みづくり



4. 世代間交流の促進とアウトリーチ活動

- 居住歴の長い高齢者は、区の歴史や文化への造詣が深く、人的なネットワークをもっている。錦町でのイベント例にみるように、**町会が企業との連携を通して若者や在勤者との関わりを持つことは、新しい町会の形**といえよう。
- 多様な住民が参加しやすい環境をつくるため、**多世代が興味を持てるきっかけ**をつくり、相互の学びに繋がるよう、以下を提言する。



提言事項

(1) 世代間の交流のきっかけとなるイベント・事業の展開

- ① 事業・イベントがさらに活発化するよう**多世代にはたらきかけ**
- ② **世代間（若者・高齢者）の橋渡し**と交流事業への参加のきっかけづくり

(2) 地域ごとの課題の整理

- ① 地域の特色をふまえて**町会加入・イベント参加のハードルを下げる**
- ② **地域活動が活発な町会**の事例を参考に

(3) 昼間人口（在学・在勤者）との交流促進

- ① **区民と在学・在勤者の交流機会**を創出
- ② **昼間人口が地域活動に参画**しやすくなるような仕組みを構築



5. 社会教育人材の育成支援と活躍機会の拡充

- これまでの提言を進めるためには、地域コミュニティ基盤を支える社会教育人材の**育成支援**と**活躍機会**の拡充が重要である。
- 人生経験豊かな**高齢者が若者や障害者、外国人などの伴走支援者として活躍**することが期待される。
- 生涯学習館事業や人材バンク等の既存施策を活かしつつ**持続的な人材育成・支援体制を構築**するために、以下を提言する。



提言事項

(1) 千代田区における社会教育人材の育成

- ①高齢者をメンターやコンシェルジュとして活用する**伴走型支援**の仕組みの構築
- ②学校・地域を繋ぐ**コミュニティ運営**と**人材配置**を強化
- ③地域課題に向き合う**社会教育人材を育成するための学習・活動の場**を提供

(2) 資格保有者や地域人材の活用

- ①ボランティアの有償化や施設利用優遇などの**インセンティブ制度**の確立
- ②**企業ボランティア**や**学生ボランティア**を地域活動に組み込み、**世代間交流**を促進
- ③地域ニーズへ適切に応えることが出来るように**人材バンクの機能**を強化

